

## 山田学部長慰労会に参加して

現代社会学科 1 期生 徳野貴則

突然の後輩からメールが届いた。3月まで人文社会学部長を勤められた山田明先生の慰労会の案内だった。何とか都合をつけ、参加させていただいた。

2006年5月13日、雨にもかかわらず、現在でも母校で勤務されている先生はもちろんのこと、すでにご退職された久田先生、森正先生、第1期卒業生から現役の学生まで、多くの「仲間」が集まった。これは山田先生のお人柄によるものだと思った。先生お得意のオヤジギャグも健在だった。この会を企画してくれた2人の幹事さんを「いい感じ」と、絶賛されると、参加者から笑いと拍手が起こった。人口密度が高くて少し暑かったのも、寒いギャグはちょうど良かった。

人文社会学部が設立されたのは1996年、早いもので10年が過ぎた。地味ではあるが、コツコツと歴史を刻んできた。はっきり言って、「学部」より「学科」の絆が深い。小規模であるがゆえに、教職員と学生のコミュニケーションがとりやすい雰囲気大きな特徴だ。学部長慰労の会を教員・学生・OBの「三位一体」で開催できたことは今後の現代社会学科にとって、大きな一歩になると思う。



今春で現代社会学科の第7期生が卒業した。今後も卒業生の人数はどんどん増えていくだろう。忙しい毎日であるが、たまには「現社」を思い出し、明日へのエネルギーにしたい。

山田先生、2年間の学部長のお仕事お疲れ様でした。